

高齢者に対する支援と介護保険制度

問題 126 「平成 28 年版高齢社会白書」(内閣府)における国際比較調査(日本, アメリカ, ドイツ, スウェーデン)に関する次の記述のうち, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 現在の貯蓄や資産が老後の備えとして「やや足りない」と「まったく足りない」と回答した高齢者の割合の合計は, 日本が最も多い。
- 2 近所の人と「病気の時に助け合う」と回答した高齢者の割合は, 日本が最も多い。
- 3 「今後, 収入を伴う仕事をしたい(続けたい)」と回答した高齢者の割合は, 日本が最も少ない。
- 4 ふだん, 近所の人と「お茶や食事を一緒にする」と回答した高齢者の割合は, 日本が最も多い。
- 5 老後生活に「満足している」と「まあ満足している」と回答した高齢者の割合の合計は, 日本が最も多い。

問題 127 介護保険制度に関する次の記述のうち, 市町村の役割として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護保険給付費のための支出会計区分は, 一般会計である。
- 2 要介護状態区分を定める。
- 3 介護保険の財政の安定化に資する事業に必要な費用に充てるため, 財政安定化基金を設ける。
- 4 第一号被保険者の保険料の徴収を特別徴収の方法によって行うことができる。
- 5 介護保険審査会を設置する。

問題 128 次の記述のうち、対麻痺の状態に当たるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 左右どちらかの上肢と下肢に麻痺がある状態
- 2 右上肢と左下肢に麻痺がある状態
- 3 左上肢に麻痺がある状態
- 4 両下肢に麻痺がある状態
- 5 四肢全体に麻痺がある状態

問題 129 右片麻痺で嚥下機能が低下した状態にある人に対する食事介護の在り方として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 食形態は、きざみ食が適している。
- 2 食前に嚥下体操を行う。
- 3 食事の時は、左側にクッションを入れ座位姿勢が保てるようにする。
- 4 右側から食事介助をする。
- 5 口腔内の右側に食物残渣がないか確認をする。

問題 130 事例を読んで、緩和ケアチームにおけるソーシャルワーカー(社会福祉士)の主な役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Jさん(60歳)は、自宅で妻(58歳)と二人暮らしである。先日、腹部に違和感があり、病院で受診した。その結果、ステージⅣの胃がん(他の器官への転移あり。)が見つかった。主治医は、病状の進行状況を勘案し、自宅での療養を勧めた。主治医と夫婦で話し合い、在宅での療養に同意した。妻は病院内のソーシャルワーカーと共に、Jさんの緩和ケアを目指した在宅療養について、話し合いを始めた。ソーシャルワーカーは、主治医、看護師、訪問看護師、薬剤師、介護支援専門員と共に関係者会議を行った。

- 1 身体的痛みに対するコントロール
- 2 医療的ケアへの助言
- 3 療養に関わる助成制度や経済的な問題への助言
- 4 薬物療法への助言
- 5 日常の介護の相談

問題 131 高齢者に関わる保健医療福祉施策に関する次の記述のうち、施策の開始時期が最も早いものを1つ選びなさい。

- 1 老人福祉法による70歳以上の者に対する老人医療費支給制度
- 2 老人保健制度
- 3 老人福祉法による65歳以上の者に対する健康診査
- 4 介護保険制度
- 5 高齢者保健福祉推進十か年戦略(ゴールドプラン)

問題 132 介護保険法における指定居宅サービス事業者(地域密着型サービスを除く)の指定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 指定居宅サービス事業者は、市町村長が指定を行う。
- 2 事業者は、市町村長から3年ごとに指定の更新を受けなければならない。
- 3 市町村長は、事業者からの廃業の届出があったときは、公示しなければならない。
- 4 都道府県知事は、居宅介護サービス費の請求に関する不正があったとき、指定を取り消すことができる。
- 5 事業の取消しを受けた事業者は、その取消しの日から起算して3年を経過すれば指定を受けることができる。

問題 133 介護保険法における国民健康保険団体連合会の役割に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 第二号被保険者から要介護認定の申請があった場合、認定調査を行う。
- 2 市町村から委託を受けて、各種介護サービス費の請求に関する審査・支払を行う。
- 3 適正な業務管理体制を整備していない介護サービス事業者に対し、是正勧告・命令を行う。
- 4 介護支援専門員の試験及び研修、登録に関する業務を行う。
- 5 第一号被保険者の保険料を、政令で定める基準に従い条例で定めるところにより算定された保険料率で算定する。

問題 134 指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員の役割に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 居宅サービス計画を作成した際に、当該居宅サービス計画を利用者及び担当者に交付しなければならない。
- 2 居宅サービス計画原案の内容について、文書でサービス担当者から同意を得なければならない。
- 3 実施状況の把握(モニタリング)に当たり、月に2回以上、利用者に訪問面接をしなければならない。
- 4 居宅サービス計画には、介護給付等対象サービス以外の、地域の住民による自発的な活動によるサービスを含めてはならない。
- 5 利用者が訪問看護、通所リハビリテーション等の医療サービスを希望している場合、利用者の同意を得て主治医等の意見を求めなければならない。

問題 135 事例を読んで、R市の地域包括支援センターに勤務するK社会福祉士の、この時点での対応に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

L民生委員が、担当地域のMさん(73歳、男性)への対応について相談するため来所した。Mさんは自分の年金で生活できているが、物忘れが多いという自覚があり、賃貸アパートの家賃の支払が滞ることがある。親族や近隣との付き合いはない。Mさんは自宅での生活を望んでいる。

- 1 Mさんから心身の状況や日常生活について話を聞く。
- 2 K社会福祉士の判断で、要介護認定の申請に関する手続を代行する。
- 3 Mさんには財産管理はできないと考え、市長申立てで成年後見人を選任する。
- 4 Mさんに、R市の社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業について説明する。
- 5 地域包括支援センター運営協議会に諮り、支援方針を決定する。